

令和7年度

高規格救急自動車（車両・ぎ装）

高規格救急自動車用救急資機材

仕 様 書

十日町地域広域事務組合

高規格救急自動車（車両・ぎ装）及び救急用資機材仕様書

第1章 総則

1 目的

この仕様書は、十日町地域広域事務組合（以下「組合」という。）が令和7年度に購入する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）車両、ぎ装及び車両に備える救急用資機材（以下「救急用資機材」という。）の一部について、必要な事項を定めるものとする。

2 概要

- (1) 救急車（車両・ぎ装） 1 台
- (2) 救急用資機材の一部（ほかの救急用資機材は、別に納入業者を決定する予定）

3 構成

- (1) 救急車の車両構成
車両は、次に掲げるものにより構成されていること。
 - ア 本体
 - イ 取付品
 - ウ 積載品
 - エ 附属品
- (2) 救急用資機材構成
資機材は、次に掲げるものにより構成されていること。
 - ア 高度救命処置用資機材
 - イ 応急処置用資機材

4 規格

- (1) 救急車は、この仕様書に定めるほか「道路運送車両法」、「道路運送車両の保安基準」及び「その他の関係法令」に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- (2) 「救急業務実施基準」に記載された事項を十分に満たすものであること。
- (3) 本救急車の装備、装備品等は、全て新規製品であること。また、整備面を考慮し、装置等は保守点検に容易な構造であること。
- (4) 本仕様書に定める救急用資機材のうち、高度管理医療機器及び管理医療機器は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下、薬機法）」第2条第5項から第7項までの規定に基づく医療機器の承認を受けたものであること。
- (5) 高度救命処置用資機材及び応急処置用資機材は、「救急業務実施基準」に記載された事項を十分に満たすものであること。
- (6) 高度救命処置用資機材及び応急処置用資機材は、全て新規格品であること。

5 提出書類

(1) 救急車については、次の書類を提出すること。

ア 受注者は、製作に先立ち契約後速やかに組合と細部の打合せを行い、打合せ後、下記の書類（A 4 ファイルに整理）を 1 部提出し、組合の承認を受けるものとする。

イ 契約後に提出する書類

- (ア) 製作工程表
- (イ) 製作承認図（救急車外観 5 面図及び傷病者室内ぎ装図）
- (ウ) 救急車諸元明細書
- (エ) 電気系統配線図
- (オ) 装備品取付け図又はサービスマニュアル
- (カ) その他組合が指定するもの

ウ 受注者は、救急車納入時に次の書類（A 4 ファイルに整理）を 1 部提出すること。

- (ア) 完成図
- (イ) 完成車両外観 5 面写真（車両登録番号の見えるもの）
- (ウ) 製作工程に基づく状況等を撮影したもの（CD、DVD等のメディア媒体と書類提出）
- (エ) 救急車取扱説明書
- (オ) 装備品、取付け品一覧表及び取扱説明書
- (カ) 装備品、取付け品保証書
- (キ) 改造自動車等審査結果通知書（写）
- (ク) 緊急自動車届出確認証（写）
- (ケ) 自動車検査証（写）
- (コ) その他組合が指定するもの

(2) 救急用資機材納入時に次の書類を提出すること。

ア 救急用資機材取扱説明書

イ 救急用資機材保証書

6 製作時の注意事項

- (1) 契約後に仕様内容、車両、ぎ装及び救急用資機材に疑義が生じた場合又は技術上の理由で仕様の変更を必要とする場合には、軽微なものであっても、その都度組合と協議し指示を受けること。
- (2) 受注者は、製作承認図を提出した後に設計変更する必要がある場合には、組合と打合せの上、変更承認図を提出し承認を得ること。
- (3) 本救急車の車両作成、救急用資機材の納入にあたり工業所有権、その他の法令に抵触する問題が生じた場合は、受注者においてこれらの問題を解決し、その旨を組合に報告すること。なお、これらにかかる費用は、受注者が負担すること。
- (4) この仕様書に記載されていないぎ装、装備品、取付け位置については、メーカーが最新のカatalog等で公表している装備が具備されていること。また、車両の構造、ぎ

装及び取付品、附属品、新開発された救急用資機材において同等以上の性能を有するものを主張する場合は、事前に組合に性能資料を提出し承認を受けること。

- (5) 車両は、新規登録検査に合格の後、各部清掃手入れを行い、燃料タンクに燃料を満たした状態で納入すること。

車両のタイヤは、納車時季に応じたタイヤで納車すること。

7 検査

- (1) 組合の指示する各検査を受けるものとし、仕様内容と相違のある場合、検査結果不適合又は不合格品と認められるものは、組合の指定する日までに部品の取替え、補修若しくは改修し、再検査を受けること。

- (2) 各検査には必要に応じ検査員が立会い指示事項、確認事項は受注者が記録の上、書面を取り交わすこと。

ア 中間検査（必要により現場検査を実施する）

検査の日程は、実施予定日の 14 日前までに文書で提出すること。なお、検査に係る組合の費用は、受注者が全て負担すること（2 人分）。この検査において軽微な変更事項があった場合は、これに応じるものとする。

イ 完成検査

納入時に性能、附属品等の完成検査を行う。

ウ その他

組合が必要と認めたときは、随時検査に応じるものとする。

8 登録の費用等

車両の登録及び納車に関する一切の経費については、受注者が負担する。（車庫証明手続、重量税、自賠責保険料、リサイクル料金も含む。）

9 納入場所

救急車の車両本体	十日町地域消防本部	納入台数	1 台
救急用資機材	十日町地域消防本部		

10 納入期限

令和 8 年 3 月 31 日（火）

11 保証

保証期間は、次のとおりとする。ただし、保証期間後であっても、設計、製作方法及び材質不良等に起因すると考えられる問題が生じた場合は、受注者が無償で修復するものとする。

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| (1) 救急車の車両（本体） | 納入後 3 年又は走行距離 60,000 k m 未満 |
| (2) 救急車の車両（架装） | 納入後 1 年 |
| (3) 救急車の積載品・取付品 | 各メーカーの保証期間 |
| (4) 救急用資機材 | 納入後 1 年又はメーカー等で定める保証期間 |

12 その他

仕様書を十分に理解し、疑義ある場合は、組合に質疑を行い、その内容を相互納得の上、製作を進めること。また、契約後における全ての事項は、組合の解釈に従うこと（議事録として記録し、適宜提出すること）。

第2章 仕様

1 救急車の主要諸元

(1) 駆動方式

フルタイム四輪駆動オートマチック方式

(2) 車両寸法

ア 車両	全 長	5,700mm 以下
	全 幅	2,000mm 以下
	全 高	2,600mm 以下
イ 傷病者室	室内長	3,100mm 以上
	室内幅	1,600mm 以上
	室内高	1,800mm 以上

(3) エンジン

ア 総排気量 2,400CC 以上

イ 最高出力 108kw (147Ps) 以上

(4) 使用燃料

ガソリン

(5) その他

救急車取付品及び附属品は、別表1のとおりとする。

2 標準装備品

メーカーが公表した標準装備品は、全て納入すること。ただし、本仕様書で指定したものと重複するものについては除く。

3 救急車ぎ装

救急車ぎ装は、メーカー標準装備品のほか次のとおりとすること。

(1) 救急車外装ぎ装

ア 左スライドドアステップの平面及び垂直面にアルミ縞板又はアルミ筋板を取り付け、平面部には滑り止めを施すこと。

イ リヤバンパー及びリアステップにアルミ縞板を取り付け、リアステップには滑り止めを施すこと。

ウ レスキューツール4点セット及び収納架台を取り付けること。

エ ルーフサイド左右又はサイドドアミラーに方向指示器を取り付けること。

オ ルーフサイド左右にLED作業灯を2灯取り付けること（計4か所）。

- カ L E D路肩灯を取り付けること（ON/OFF スイッチ付）。
- キ 助手席側にアウトサイドミラー及び左右フロントドアにサイドバイザーを取り付けること。
- ク フロント部に消防章を取り付けること。
- ケ フロント部左右に補助赤色警光灯（L E D式）を取り付けること。
- コ フロントバンパー部左右に補助赤色警光灯（L E D式）を取り付けること。
- サ 両側面に補助赤色警光灯（L E D式）を取り付けること（計4か所）。
- シ バックブザーを取り付けること（ON/OFF スイッチ付）。
- ス 前照灯は、L E D式ヘッドランプとすること。
- セ 寒冷地仕様とし、ヒーター付ドアミラーを取り付けること。
- ソ 傷病者室左スライドドア 2/3 くもりフィルム処置、バックドアガラス 3/4 くもりフィルム処置、それ以外の窓は、くもりフィルム処置を施すこと。
- タ 車両には、完全な錆止め処理を施すこと。
- チ サイレンスピーカーの位置によっては、防雪カバーを取り付けること。
- ツ 排気口は、ストレッチャー搬出入時や病院内部への排気ガス流入に配慮すること。
- テ 標準装備されている車両フロント、リア部の大型散光式赤色警光灯はL E D式とすること。
- ト リモコン操作でドアの施解錠ができること。
- ナ 車両前部に赤帯、側面及び後面に再帰性に富んだ反射材を取り付けること。
- ニ ナンバープレートに外枠フレームを取り付けること。

(2) 運転室内ぎ装

- ア フェードイン・アウト機能付及び騒音対策を有するサイレンアンプを取り付けること（大阪サイレン社製）。
- イ 運転席上部にフレキシブルマイクを取り付けること。
- ウ サイレン音（ウー音）吹鳴スイッチを運転室内中央パネル付近と運転席メーター付近に取り付けること（計2か所）。
- エ サイレンアンプ音声メッセージ吹鳴スイッチを運転室内中央パネル付近と運転席メーター付近に取り付けること（計2か所）。
- オ サイレンアンプ音声右左折メッセージ ON/OFF スイッチを運転室内中央パネル付近に取り付けること。
- カ 電流計・電圧計を運転室内に取り付けること。
- キ ナビゲーションシステムは、バックモニター（電子インナーミラー又は同等品を取り付けることができる場合は、この限りでない）、車両全周囲を確認できる機能を有するものを取り付けること。
- ク ドライブレコーダーを取り付けること（前後方録画）。
- ケ 助手席側から傷病者室内を確認できるミラーを取り付けること。
- コ 運転席と助手席の間に地図入れ用の収納庫（蓋なし）を取り付けること。
- サ 外部電源入力中にエンジンが始動しない構造とすること。
- シ 助手席上部にL E D灯ランプを取り付けること。

ス 助手席にピラー上部固定式のフレキシブルマップランプを取り付けること。

セ 助手席後部にボードを取り付けること。

ソ 運転席及び助手席天井部に網棚（ネット）を取り付けること。

タ 運転席と傷病者室の間に間仕切りを取り付けること。

(3) 傷病者室ぎ装

ア 左スライドドア部にカーテンを取り付け、バックドアに電動カーテンを取り付けること。

イ ヘルメット収納用C型バネ付フックを運転室内と傷病者室内に取り付けること（詳細は別途指示）。

ウ 室内にティッシュ／ディスポグローブボックス固定ベルトを2個取り付けること（運転席後部の収納棚用）。

エ 運転席後部に収納棚を取り付け、中に可動式の棚板を2段以上取り付けること。
収納扉の構造は、開閉に支障のない構造とすること。

オ 引出し内部にカバー材（緩衝材）を敷くこと。

カ 助手席後部に収納庫を設置すること（自動心肺蘇生器、ボンベ収納）。

キ ステンレス製トレイを除細動器固定金具付近に設置すること。

ク 傷病者室の後ろ向きシート（メディカルシート）下部に冷温蔵庫を取り付け、ベルトで固定すること。

ケ 酸素ボンベ収納庫上部にレールを取り付け、3段収納庫（前側）を設置すること。

コ 脱着可能な手指消毒液用の収納庫を取り付けること。

サ 室内右側最後部に処置トレイ付き収納庫（上段）とアクリル扉付き収納庫（下段）を取り付けること）。

シ 室内右側ルーフサイド（前後）及び左側ルーフサイド（前後）にアクリル扉付き収納庫（縦仕切り又は中仕切り）を取り付けること（計4か所）。

ス 室内にハイバックシートを設け、左スライドドア後部に乗降用グリップを取り付けること。

セ 室内天井にネットを2か所取り付けること。

ソ 室内（傷病者室運転席側）にA4ホワイトボード（1枚）を取り付けること（マグネット式）。

タ 室内右側にレールを2段取り付け、C型バネ付フックを取り付けること（右窓上レール部分）。

チ 室内右側ルーフサイド（前後）収納庫下に手すり（アシストグリップ）を2本取り付けること。

ツ 室内天井に手すり（アシストグリップバー）を取り付けること。

テ 乗車定員に準じたシートベルトを取り付けること。

ト バックドアに開閉用ストラップ及び患者灯を取り付けること。

ナ 後部の乗降用にパッドを施した大型で長い手すりを取り付けること。

ニ 室内照明（LED式）と患者灯調光器を取り付けること。

ヌ 室内にデジタル式電波時計（乾電池式）を取り付けること（温湿度計表示のある

もの)。

- ネ FERNO 社製エクステンジが収納できる防振ベッドとし、ストレッチャー搬入補助のガイド（落下防止装置含む）及び脱着式ヘッドパッドを取り付けること。
- ノ 室内右側にバックボード及びスクープストレッチャーを容易に出し入れできる構造の収納を取り付けること。
- ハ 室内にダストボックスを設けること。
- ヒ 後ろ向きシート（メディカルシート）右側下部（ダストボックス側）に、地図等を入れる収納庫を取り付けること。
- フ 加湿流量計（ヨーク式バルブ仕様）を取り付けること。
- ヘ 川重型酸素マニホールドを加湿流量計下部に取り付けること。
- ホ 自動体外式除細動器、電気式吸引器、人工呼吸器、その他当組合が指定する資機材については、取付け金具を設けること（詳細は別途指示）。
- マ 輸液（点滴）ビンホルダー（固定装置）を天井右後部に2つ取り付けること。

(4) 車両電装ぎ装

- ア 車載バッテリー及びヒューズは、救急資機材やぎ装等を考慮し、使用容量に十分余裕を持たせ耐久性の高い製品を使用すること。
- イ 救急資機材を使用した場合、十分な発電量を確保できるオルタネーターを装備すること。
- ウ 各配線は、消費電流に余裕があり長年の使用に十分耐えるものを使用すること。
- エ 資機材用にAC100Vコンセントを設置すること（詳細、個数は別途指示）。
- オ インバーター（正弦波 500W対応）とハーネスを取り付けること。
- カ 外部電源から車載バッテリーを充電できるシステムを取り付けること。
- キ AC100V電源の自動切換改造を行うこと。
- ク AC100V電源で、エンジンをかけずに室内灯等の電気機器使用ができること。

(5) 車載用無線電話装置等

- ア 車載用無線電話装置等は、現有車両から移設設置するものとし、組合が指定する業者とすること（設置位置等については別途指示）。
- イ 運転席と助手席の間にAVMモニターと無線機操作パネルが設置できる基台を取り付けること（基台については別途指示）。
- ウ ルーフ上部に無線アンテナベースを2か所以上設け、無線アンテナを取り付けること。
- エ 無線配線は、アンテナ取付け部から本体取付け部まで隠蔽配線とすること。ぎ装の段階で通線等を行い、配線が露出することがないように処理を行うこと。また、事前に通線等の処理を行うケーブル等については全て新規製品を使用すること。
- オ ON/OFF スイッチ付の無線機用スピーカーを傷病者室前方天井部又は傷病者室左側ルーフサイドと運転室内天井部に取り付けること（計2か所）。
- カ 傷病者室左側ルーフサイド及び運転席と助手席の間に無線機送受話器を取り付けられるように配線等を施し、振動及び衝撃に耐える脱着容易な掛具を取り付けること。
- キ 無線機アンテナ用点検口を2か所増設し5D2V線（2本通線）を敷設するこ

と。

ク 雑音防止を実施すること（アースボンディング処理）。

ケ AVM等用電源端子（DC12V）を取り付けること（8端子）。

(6) 文字記入関係

ア 車体前部右側の組合が指定する位置に「南救急1」と記入すること。

イ 車体両側面の組合が指定する位置に「十日町地域消防本部」と記入し、十日町地域消防本部・署のエンブレムを取り付けること。

ウ 両フロントドア部の組合が指定する位置に「南救1」と記入すること。

エ 車体後部の組合が指定する位置に「十日町地域消防本部」と「南救急1」と記入すること。

オ 対空標示は、組合が指定する位置に「南」と「A1」と記入すること。

カ 車体両側面の窓上部の組合が指定する位置に「TOKAMACHI FIRE DEPT.」と記入すること。

キ 文字位置、字体、大きさ、デザイン、使用する素材等は、組合と別途協議すること。

ク 当該車両の導入に伴い、(6)文字記入関係は組合が指定する業者とすること。

4 救急用資機材

救急用資機材は、高度救命処置用資機材（別表2）及び応急処置用資機材（別表3）とする。

第3章 その他

1 取扱い説明

車両納入後、組合の指示で救急車、装備品及び救急用資機材等の取扱いについて専門係員を派遣し、説明を実施すること。

2 救急資機材

救急用資機材については、本件契約後に別途入札で決定される救急用資機材納入業者と調整の上、積載、取り付けした状態で車両を納入すること。

別表1 取付品及び附属品

番号	品 名	規格・仕様等	数量	備 考
1	メインストレッチャー	エクステンジ モデル 4080S/4155	一式	専用マットレス 専用ベルト サイドアームリンケージ システム 左右サイドアームプレート 左右サイドアームカバー (ガートル架収納) ガートル架(折畳み式)× 1 ガートル架キット×1 (ガートル架×1、ガートル 架マウント×2) (取付け位置は別途指示)
2	フロアマット	メーカー純正品	一式	
3	スタッドレスタイヤ	アルミホイール付 国内メーカー	一式	
4	スノーワイパーブレード	フロント用、リア用	一式	
5	タイヤチェーン(非金属)	メーカー純正品	一式	
6	非常用信号用具	発煙筒、非常灯(誘導 棒)、三角停止表示板	一式	
7	消火器	車両標準装備	一式	
8	予備電球・ヒューズ	個数は、別途指示	一式	

別表 2 高度救命処置用資機材

項 目	品 名	規格・仕様等	数量	備 考
気道確保 用資機材	電動式吸引器 附属品 ※2	A C 電源コード付きウォール ブラケット ヤンカーカテーテル×1本 ステリキャディサクシオン ホルダー30個入1箱	一式	レールダル L S U 4000 (本体含む)
	酸素吸入装置 ※2	ガスサプライバルブ	一式	レールダル接続アダ プター含む
	人工呼吸器 セット※1	メデュマッティージー ライトキャリングセット WMED-6 EC00 (標準構成)	一式	蘇生マスク小児・乳児 (各1) 6年間メンテナンスパッ 酸素供給ホース (0.45m) 1本

※1 高度管理医療機器 ※2 管理医療機器

別表 3 応急処置用資機材

項 目	品 名	規格・仕様等	数量	備 考
酸素吸入資機材	加湿流量計	オキシパック OX-III S (ジュンロン 型2口+川重 型1口)	一式	減圧弁 SA ヨーク型ジュンロンチャク付× 2個 三方チーフ高圧用 (標準) ボンベハンドル (ヨーク式バル ブ用) 配管ホース緑7m 酸素ボンベ9.4L固定用受皿金 具取付け (2本分)

救急車に係るぎ装一覧表

1 救急車本体ぎ装

No.	品 名	備 考
1	左スライドドアステップの平面及び垂直面にアルミ縞板又はアルミ筋板を取り付け、滑り止め加工	
2	リヤバンパー及びリアステップにアルミ縞板取り付け、滑り止め加工	
3	レスキューツール4点セット及び収納架台取付け	
4	ルーフサイド左右又はサイドドアミラーに方向指示器取り付け	
5	L E D作業灯を左右2灯取り付け（計4灯） （大阪サイレン製 LIA-200 又は同等品）（ON/OFF スイッチ付）	
6	L E D路肩灯取付け（ON/OFF スイッチ付）	
7	助手席アウトサイドミラー及び左右フロントドアにサイドバイザー取り付け	
8	フロント部に消防章取り付け	
9	フロント部左右に補助赤色警光灯取り付け（2灯） （大阪サイレン製 LFA-150 又は同等品）	
10	フロントバンパー部左右に補助赤色警光灯取り付け（2灯） （大阪サイレン製 LFA-100 又は同等品）	
11	両側面に補助赤色警光灯（L E D式）を取り付け（計4か所） （大阪サイレン製 LFA-160 又は同等品）	
12	バックブザー取付け（ON/OFF スイッチ付）	
13	前照灯 L E Dヘッドランプ取付け	
14	寒冷地仕様（ヒーター付ドアミラー含む）	
15	傷病者室左スライドドア 2/3 くもりフィルム処置、バックドアガラス 3/4 くもりフィルム処置、それ以外の窓はくもりフィルム処置	
16	車両錆止め処理	
17	サイレンスピーカーの位置によっては、防雪カバー取り付け	
18	排気口はストレッチャー搬出入時や病院内部への排気ガス流入に配慮し取り付け	
19	標準装備の車両フロント及びリア部大型散光式赤色警光灯（L E D式）取付け	
20	リモコン操作式ドア施解錠取付け	
21	車両前面に赤帯、側面及び後面に再帰性に富んだ反射材取り付け	
22	ナンバープレート外枠フレーム取付け	

2 運転室内ぎ装

No	品 名	備 考
1	サイレンアンプ（大阪サイレン社製 OPS-D151Q）	
2	フレキシブルマイクロホン取付け（大阪サイレン社製 UD-200）スイッチ付	
3	サイレン音鳴動スイッチ取付け（運転室内中央パネル付近・メーター付近）	
4	サイレンアンプ音声メッセージ鳴動スイッチ取付け（運転室内中央パネル付近・メーター付近）	
5	サイレンアンプ右左折音声用 ON/OFF スwitch 取付け（運転室内中央パネル付近）	
6	電流計・電圧計取付け（運転室内）	
7	カーナビゲーションシステム取付け	
8	ドライブレコーダー取付け（前後）	
9	助手席側、傷病者室内視認用インナーミラー取付け（1 個）	
10	地図入れ（蓋なし、A 3 サイズ収納可）	
11	外部電源入力中エンジンスタート O F F 改造	
12	助手席上部 L E D ランプ取付け	
13	助手席にピラー上部固定式のフレキシブルマップランプ取り付け	
14	助手席後部ボード取付け	
15	運転席及び助手席天井部に網棚（ネット）取り付け	
16	運転席と傷病者室の間に間仕切り取り付け	

3 傷病者室ぎ装

No.	品 名	備 考
1	左スライドドア部カーテン取付け、バックドア電動カーテン取付け	
2	ヘルメット収納用フック取付け（詳細は別途指示）	
3	室内にティッシュ／グローブボックス固定ベルト 2 個取付け（収納棚縦用）	
4	運転席後部に収納棚取り付け（棚板 2 段以上を含む）	
5	引出内部カバー材取付け	
6	助手席後部収納庫設置（自動心肺蘇生機、ボンベ収納）	
7	ステンレス製トレイ取付け	
8	後向きシート（メディカルシート）下部に冷温蔵庫を取り付け、ベルト固定	
9	酸素ボンベ収納庫上部にレールを取り付け、3 段収納庫（前側）設置	

10	手指消毒用収納庫取付け	
11	室内右側最後部に処置トレイ付収納庫(上段)アクリル扉付き収納庫(下段)取付け	
12	右側ルーフサイド(前後)及び左側ルーフサイド(前後)アクリル扉付収納庫取付け	
13	室内にハイバックシート取付け、左スライドドア後部に乗降用グリップ取付け	
14	室内天井ネット取付け (2か所)	
15	ホワイトボード取付け (マグネット式)	
16	室内右側にレールを2段取付け、C型バネ付フック取付け (計6個)	
17	室内右側ルーフサイド (前後) 収納庫下に手すり取付け (2本)	
18	室内天井手すり (アシストグリップバー) 取付け	
19	シートベルト取付け (乗車定員分)	
20	バックドアストラップ及び患者灯取付け (リアハッチ)	
21	後部乗降用大型手すり取付け (パッド付)	
22	室内照明 (LED式)、患者灯調光器取付け (傷病者室内右側)	
23	デジタル電波時計取付け、デジタル温湿度計取付け	
24	防振ベッド (左右スライド機能付き) 取付け (脱着式ヘッドパッド含む) (エクステンジ用・反転スロープ・搬入ガイド・落下防止装置付き)	
25	バックボード・スクープストレッチャー汎用固定装置取付け	
26	室内にダストボックス取付け	
27	後向きシート (メディカルシート) 右側下部に地図等を入れる収納庫を取付け	
28	加湿流量計 (ヨーク式バルブ仕様、川重型 1口付属) 取付け	
29	モニター付き除細動器 (ZOLL) 固定器具取付け	
	L S U 4000 固定器具取付け	
	人工呼吸器 (メデュマットイージー) 固定器具取付け (ハンドル付車載着脱用金具)	
	資機材取付け金具の設置 (取付場所は別途指示)	
30	輸液 (点滴) ビンホルダー (固定装置) 取付け	

4 救急車電装ぎ装

No	品 名	備 考
1	車載バッテリー及びヒューズは使用容量に十分余裕を持たせ耐久性の高い製品を使用	
2	十分な発電量を確保できるオルタネーターを装備	
3	各配線は長年の使用に十分耐える物を使用	
4	AC100V 出力コンセント設置（詳細・個数別途指示）	
5	500W 対応インバーター・ハーネス取付け	
6	外部電源から車載バッテリー充電システム取付け	
7	AC100V 電源の自動切換改造	
8	署内待機中に AC100V 電源で室内灯等が使用できること	

5 車載用無線電話装置等

No	品 名	備 考
1	車載用無線電話装置等は現有車両から移設設置（組合が指定する業者）	
2	A V Mモニター、無線操作パネル基台設置（基台について別途指示）	
3	車両上部に無線アンテナベース最低 2 か所取り付け（デジタル無線アンテナ取付け含む）	
4	無線配線の隠蔽配線	
5	ON/OFF スイッチ付無線機用スピーカー取付け（運転室内・傷病者室内）	
6	傷病者室、運転席の無線送受話器用配線と掛具取付け（組合が指定する業者と協議）	
7	無線機アンテナ点検口 2 か所以上増設、5 D 2 V 線敷設	
8	アースボンディング処理実施	
9	A V M等用電源端子（D C 12V）取付け（8 端子）	

6 文字記入関係（当組合指定位置、詳細別途指示）

No	品 名	備 考
1	車体前部「南救急 1」	
2	車体両側面「十日町地域消防本部」「十日町地域消防本部・署エンブレム」	
3	車体両フロントドア部「南救 1」	
4	車体後部「十日町地域消防本部」「南救急 1」	
5	車体上部（対空標示）「南」「A 1」	
6	車体両側面の窓上部「TOKAMACHI FIRE DEPT.」	
7	文字位置、字体、大きさ、デザイン、使用する素材等は組合と別途協議	
8	文字記入関係は組合が指定する業者	